

# 青雲の志

## 夢を拓き、夢の実現

### 沿革

- S39年 女子校として創立
- S52年 男女共学、総合選抜制
- S58年 合同選抜制
- H7年 単独選抜制
- H19年 進学重視型単位制の開始 ルイ・アラゴンの言葉より

教えるとは  
希望を  
語ること

学ぶとは  
誠実を  
履きこなすこと

### 青高の制服



別府青山高校の女子の制服は昭和39年の創立以来、冬服・夏服共に現在まで変わっていない伝統ある制服です。その特徴のひとつにペレー帽があります。日本では、儀式などで帽子を脱ぐことが礼儀とされていますが、欧米では帽子が正装の一部です。創立時留学経験のある教員の「これからの時代、女性も世界に目を向け活躍してほしい」という想いを込めて、ポレロスタイルにペレー帽という斬新なデザインが、当時の家庭科の教員を中心に考えられました。また、麦わら帽子が夏の制服として採用された時期もありました。

ペレー帽が今日まで残っていることは、時代が変わっても青高生としての何か共通な想いが受け継がれているのではないのでしょうか。古き良き伝統のもとに今の別府青山高校があるのです。

### 校歌

作詞 津野 任  
仁木 富美子  
作曲 松尾 英一  
青い山に 雲がわく  
自由の尊さを知ろう  
心理の頂きめざして肩くみ  
進む われら  
ああ 母校 若き青山高校

青い海に 虹がかかる  
信頼の夢を持とう  
世界の架け橋めざして手を取り  
進む われら  
ああ 母校 若き青山高校

青い空に 日がかがやく  
生命の豊かさを知ろう  
花咲く未来をめざして歌い  
進む われら  
ああ 母校 若き青山高校

別府青山高校の校歌は、地域に関する固有名詞（鶴見山・別府湾など）を歌詞に入れず、青い山・海・空で表現しています。

それは国際的な視野に立ち「形にとらわれず、本質的な人間性を養ってほしい」という想いからで、現在でも本当の自由を求めるといふ別府青山高校の本質的な基盤となっています。



第1期生 香川 寿子

昭和39年、青山は女子高校として出発しました。

私はその一期生です。

当時は、荒地に教室棟だけがぽつんと立つ、体育館や図書館はもちろん特別教室も何もない学校でした。それでも私たちは意気軒昂、先生方の草創の同志として、厳しいながらも楽しく濃密な三年間を過ごしました。

「明るく、強く、心温かく」「教えるということは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むこと」この青山スピリットは私のバックボーンとなって、今でも私の人生を支えてくれています。

女子校から男女共学へ、そして単位制へと変遷を遂げてきましたが、先輩の皆さんにこの青山スピリットがしっかりと受け継がれていることがなによりうれしく、誇らしく思います。

どうかあなたの青山での三年間が、実りあるものになりますように。



第43期生 和喜田 拓

私は現在、別府市の消防士として働いています。私の高校時代は、サッカー一部中心の毎日でした。きつい練習を粘り強く頑張ってきた結果、仕事でも簡単にあきらめない忍耐力が身につきました。また、部活動の先輩との関わりで目上の方との接し方や礼儀を身につけることができたので、職場でも早く馴染むことができました。

今でも仕事で悩んだ時などは、部活動の友人や高校時代のクラスメートに相談にのってもらうこともあり、卒業してからも友人の大切さを改めて感じています。

私は青山高校時代に人生でとても大切な精神力、忍耐力、人とのつながりなど数多く学ぶことができました。あつという間の3年間でしたが本当に充実していました。

## 平成24年度 生徒募集要項

### 推薦入試

- 期 日/2月6日(月)
- 募集人員/入学定員の10%以内
- 選抜資料/推薦書・調査書・面接・小論文
- 推薦要件/次の各項目の全てに該当する者

- 1.人物が優れ、本校の教育課程を修得する見込みがあり、本校を志願する動機、理由が明白かつ適切であること。
- 2.調査書の各記録が、本校を志願するにふさわしいこと。
- 3.スポーツ活動または文化活動において、優れた能力・適性があり、かつ顕著な実績があること。

### 一次入試

- 期 日/3月6日(火)
- 学力検査実施教科/国語・社会・数学・理科・英語
- 調査書の合計点と学力検査成績の比率/3:7
- 選抜資料/学力検査・調査書

### 二次入試

- 期 日/3月15日(木)
- 学力検査実施教科/国語・数学・英語
- 面接/実施する
- 選抜資料/学力検査・調査書・面接